

【2022 度第 8 回全日本 9 人制バレーボールトップリング（V9 チャンプリーグ）】

【開催期間】

2022 年 6 月 3 日（金）～10 月 30 日（日）

【会場】

EW 社体育館（大阪府）・猫田記念体育館（広島県）・吉田文化体育センター（鹿児島県）

ひなた武道館（宮崎県）・俵田扇記念体育館（山口県）・亀山市西野体育館（三重県）

【参加チーム】

- ・パナソニック津アドバンス（三重県）
- ・東京東信用金庫ブルーラビッツ（東京都）
- ・イビデンレグルス（岐阜県）
- ・デンソーテンレッドフェニックス（兵庫県）
- ・日田検診ホワイトドルフィン（大分県）
- ・鹿児島銀行レジオンウィングス（鹿児島県）
- ・マツダクロスナイン（広島県）
- ・パナソニックブルーベルズ（大阪府）

〈試合結果〉

優勝（PDF 添付）

〈MVP〉

パナソニックブルーベルズ 小林 奏瑛（ソリューション開発本部 ライティング開発センター）

〈試合レポート〉V9 チャンプリーグ 8 連覇達成！！

6/3（金）EW 社体育館にて開催された、パナソニックオープニングマッチを皮切りにチャンプリーグが開幕しました。各地を回り、レギュラーラウンド・セミファイナルリーグを行い、7 月末に開催予定だったファイナルトーナメントが、各チームのコロナ感染拡大により、10 月末に延期となりました。チーム内のコロナ感染などもあり、それぞれのチームが苦しい状況乗り越えて、ファイナルトーナメントに参加しました。

準決勝の相手は、セミファイナル 3 位通過のマツダクロスナインです。準決勝は、多くの選手がコートに入り総力戦で戦い、ストレート（21-11.21-10）で勝利し、決勝戦に駒を進めました。



決勝の相手は、セミファイナル 1 位通過のデンソーテンレッドフェニックスです。レギュラーラウンドでは、フルセットで敗戦しており、セミファイナルでは、ブルーベルズが棄権したため不戦敗で、対戦するのは、3 か月ぶりとなりました。

決勝戦、1 得点目は、丸尾選手のブロックポイント！！その後、4 失点するも、中馬選手の緩急を付けた攻撃や相手のミスなどもあり、10-8 と中盤でリードします。その後は、小林主将の相手をオーバーネットに誘うプレーやまたしても丸尾選手のブロックポイントで、21-15 となり、1 セット目を取りました。2 セット目は、出だしから長いラリーで、苦しい展開が続くも、奥野選手が随所でポイントを取り、交代でコートに入った林選手の高さ

のあるスパイクも決まり、15-13と2セット目も中盤でリードします。しかし、この後両サイドのブロックアウトに苦戦し、同点に並ばれ、小林主将のスパイクもブロックされ、15-16で逆転されてしまいます。ここから、中馬選手のスパイクが2本決まるも、相手の多彩な攻撃に対応出来ず、2点リードを許したまま、19-21で2セット目を落としました。3セット目は、ブルーベルズに流れが来ている状態でスタートを切ります。田川選手のコンビが相手ブロッカーを翻弄し、中3枚（中馬選手・丸尾選手・奥野選手）の攻撃が決まります。リードしたまま、中盤に差し掛かり、ここから、小林主将のスピードのある攻撃や緩急をつけた攻撃が連続得点に結びつき、16-11と5点差を広げるも、デンソーテンも簡単には勝たせてくれず、速い攻撃や両サイドのパワーのあるスパイクで応戦してきます。16-15で1点差に迫られるも、レシーバー陣（伏見選手・寺田選手・長友選手）の好レシーブなどでブルーベルズの底力を見せつけ、最後は主将の小林選手が相手の隙をつくフェイントで得点し、21-17でフルセットを勝ち取りました。

ですが、セミファイナルリーグ下位のチームが勝利した場合には、「ゴールデンセット」（1セット21点で勝敗を決める）が適用されるルールとなっております。ブルーベルズは、2位通過でデンソーテンが1位通過のため、ゴールデンセットがチャンプリーグ始まって以来、初めて適用されました。このゴールデンセットを取ったチームの優勝です。



決勝戦終了から15分後に始まったゴールデンセット、開始早々3連続得点で勢いをつけます。5-1までリードした展開に、デンソーテンがタイムアウトを要求します。ここでリズムを取り戻したデンソーテンが、速い攻撃で応戦し、なかなかリードを許してくれません。途中サーブポイントを決められ、流れが相手に行きかけた時に、奥野選手の技ありスパイクで流れを呼び戻し、11-9で中盤を迎えます。ここから、セッターのツー攻撃やB攻撃などに苦戦するも、小林主将の力強いブロックアウトや中馬選手のダイレクト攻撃などで応戦し、16-16までシーソーゲームを繰り返します。ここで、メンバーチェンジで入った石田選手のドライブサーブで相手のリズムを崩し、一気に20-16まで得点を重ねます。次の1点を取れば優勝の場面、長いラリーを取りきり、中馬選手・丸尾選手のブロックポイントで優勝を決めました。



セミファイナルリーグが終了してから、誰がコロナ感染して大会離脱してもチーム力が変わらないようにと全員で努力してきたことが「8連覇」という結果を生んだと思います。また、ファンの皆様の応援と職場の方のご理解・ご支援には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

<MVP 小林主将のコメント>

日頃よりブルーベルズへのご支援、ご声援誠にありがとうございます。

8連覇がかかった今回のリーグ戦。プレッシャーがあれながらも最高の結果で終わることが出来たのは、監督をはじめ、スタッフ、共に戦い抜いた選手、応援して下さいました皆様のおかげです。この場を借りて感謝申し上げます。

準決勝・決勝のみが延期となりましたが、この期間にもう一度準備の時間が取れるとポジティブに捉え、前半戦での課題や私生活も改めて見直し、真剣にバレーボールと向き合う時間を作りました。

決勝戦まで誰一人かける事なく、体調面や感染対策にも気を配り頑張ってきたことが結果となって本当にうれしく思っております。

6月からスタートした今大会。コロナの影響で声出し応援の制限等、スタンドからの声援が聞こえないのは非常に寂しく思いました、、、

そこで！11月末に大阪にて全日本総合選手権が開催されます。開催場所はなんと、、、地元大阪です！皆様ご来場の上、沢山のご声援頂けると嬉しいです！我々ブルーベルズの魅力あふれるプレーを是非会場でご覧ください！



【準決勝】VSマツダクロスナイン

パナソニックブルーベルズ (大阪府)	2	21 - 11	0	マツダクロスナイン (広島県)
		21 - 10		
		-		

【決勝】VSデンソーテンレッドフェニックス

パナソニックブルーベルズ (大阪府)	2	21 - 15	1	デンソーテンレッドフェニックス (兵庫県)
		19 - 21		
		21 - 17		

【ゴールデンセット】

パナソニックブルーベルズ (大阪府)	1	21 - 16	0	デンソーテンレッドフェニックス (兵庫県)
-----------------------	----------	---------	----------	--------------------------